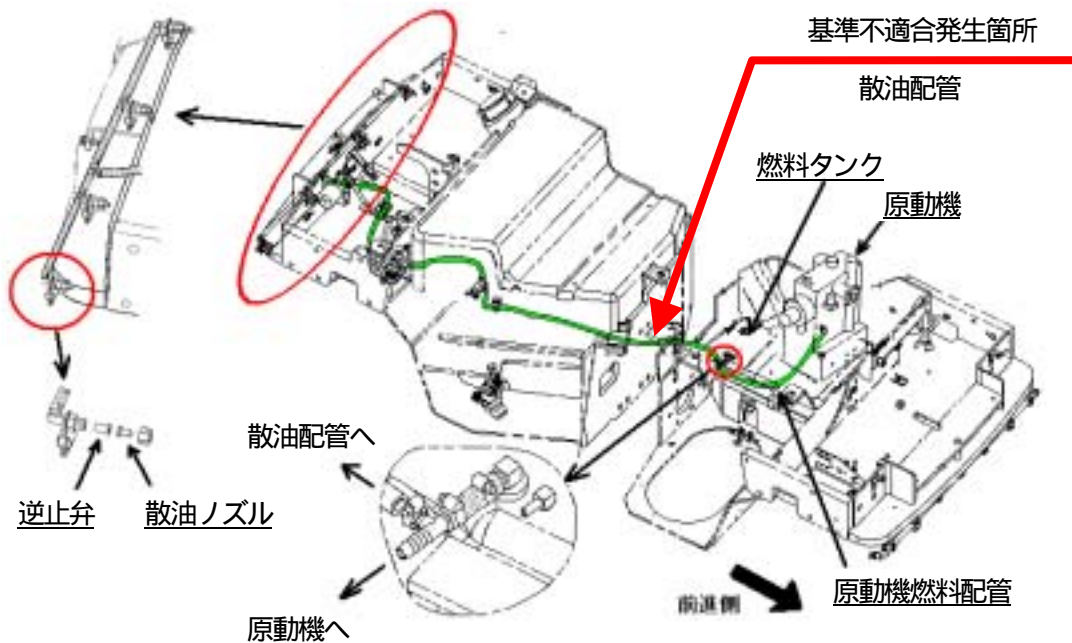


- 改善箇所説明図 -

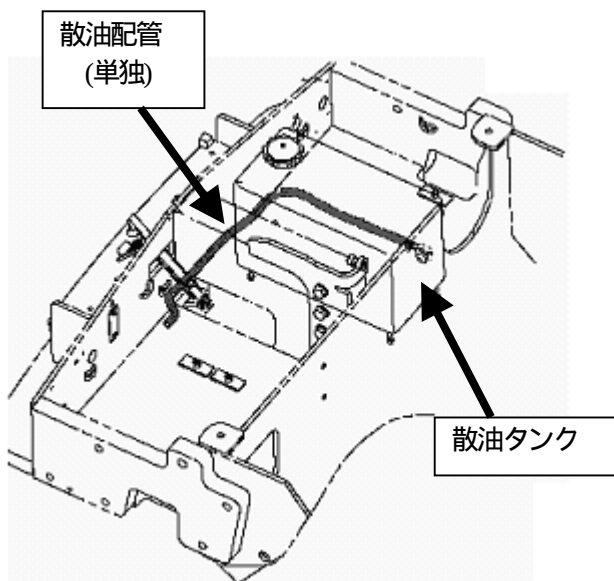
不具合事象



対策前



対策後



燃料配管の回路が不適切なため、散油配管の逆止弁の経年劣化及びゴミ噛み等によりシール性能が低下し、散油配管中にエアーを吸い込んだ場合、共用配管である原動機の燃料配管にエアーが混入し、最悪の場合、原動機が停止し再始動できなくなるおそれがある。

改善措置の内容

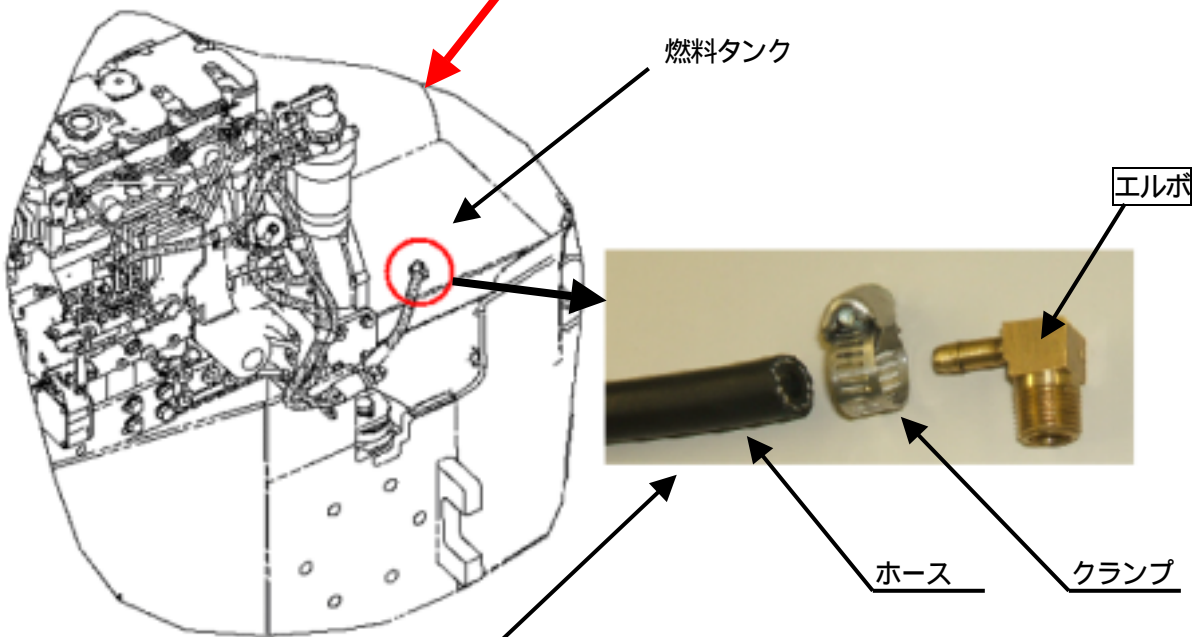
全車両、散油タンクを追加装着し、原動機燃料配管と散油配管を個別回路にする。

注： は、交換部品を示す。

識別：対策済み車両には、散油タンクが追加される。

- 改善箇所説明図 -

不具合事象



基準不適合発生箇所

原動機から燃料タンクへの戻り配管のエルボ部のクランプ締め付け力が不足しているため、エルボに挿入されたホースの締め付けが緩いものがある。そのため、そのまま使用を続けると、最悪の場合、走行時等の振動によりエルボからホースが外れ、燃料が洩れるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、エルボを外径アップした対策品に交換し、クランプを規定値で締め付ける。

注： は、交換部品を示す。

識別：対策済み車両には、ホースクランプに白ペンキを塗布する。